

津和野町商工会

会長名：椿 康隆 会員数：284名(R3.4.1現在)
住 所：〒699-5605
島根県鹿足郡津和野町後田口187
TEL：0856-72-3131 FAX：0856-72-1389
URL：http://tsuwano.shoko-shimane.or.jp/



津和野の伝統的なたたずまいを残す店舗



土間と土壁の残る店内
自身がデザインした商品が並びます

経営支援

事業承継を機に事業再構築！

城下町の風情が残る本町通りに、明治から続く「依種苗店」があります。建物は重要伝統的建造物の登録有形文化財として歴史的価値を有しています。

経営は赤字が続いていましたが、令和元年に長女が後継者として事業に携わったのを機に、これまでのノウハウを活かし、事業承継による事業の再構築という新たな取組みを計画し、種苗の他、後継者自身が染め上げた染め物、自身がデザインした陶器や木の器等の販売を本年4月より開始しました。

商工会は、店舗改装や備品購入にかかる経営革新計画の策定や島根県の事業承継補助金の活用、さらには承継までの活動資金を確保するための津和野町独自の事業承継補助金の活用等、種々支援を行いました。

今後は、独自ブランド(SHIKINOKA(シキカ))の立ち上げによる生活雑貨販売、デザインコンサル業、古民家を改修したレンタルスペース業にも取り組む予定です。

令和4年1月に事業承継予定で、文化財の建物を活かした拠点が新たにスタートします。

地域産業振興

日本三大芋煮で地域産業・文化・観光PR！

皆さんは日本三大芋煮をご存知でしょうか。

津和野町の「芋煮」は旅行雑誌「旅の手帖」の特集において、芋煮会発祥の地、山形県中山町の「芋棒煮」、愛媛県大洲市の「いもたき」と共に、日本三大芋煮として認定を受けました。

3市町は平成26年、連携して芋煮を通じた観光・文化交流、地域PRを行うため、日本三大芋煮連絡協議会を結成し、首都圏でのPRイベントやオンラインツアー等を実施しています。

本町では町、(一社)津和野町観光協会、津和野町商工会が連携し、長年続く「津和野 芋煮と地酒の会」を発展させ、三大芋煮の食べ比べイベントを開催しました。

当会は主幹事務局として企画運営を担当し、イベントは早朝から多くの来訪者が長蛇の列をなす訴求力の高い事業となっています。

また、観光閑散期を利用して芋煮のレトルト商品を加工し、ふるさと納税の返礼品やデパート販売などに向けた3大芋煮セットの商品化も企画が進行中です。コロナ禍、急伸するオンライン販売も視野に支援を継続していきます。



炙り鯛の出汁に芋とゆず皮を。
上品な津和野の芋煮。(写真右下)



森鷗外の縁で交流のある東京都文京区でも
芋煮会を行いました。